

教員名	鶴田 禎人	所属学科	経済学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】</p> <p>私の専門は、社会保障（福祉政策）と労働政策からなる社会政策です。私たちの生活は社会保障と労働政策のどちらが欠けても成り立ちません。本ゼミでは、社会保障や労働に関わる法制度や実践を学び、日本の社会保障・労働の現状やその改善策について一緒に考えていきます。</p> <p>また、社会保険労務士（国家試験合格）を持っており、資格取得を目指すゼミ生がいれば、学習の支援をしたいと思います。</p>			
<p>【どのように学ぶのか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年次の基礎演習では、社会保障・労働に関する法制度の基本的なしくみや今どのような問題が起きているのかについて、図書の輪読を通じて理解を深めます。 ・3年次の演習Ⅰでは、地域で社会保障や労働の問題に対して、様々な実践を行っている人や機関、団体等に聞き取りを行い、グループワークを通じてその成果を報告書にまとめていきます。 ・4年次の演習Ⅱでは、それまでの学びを踏まえて、1年をかけて卒論の執筆を行います。テーマは自由です。これまで担当した学生は、「子どもの貧困の現状と対策」、「労働時間の国際比較」など、社会政策にかかわる多様なテーマで執筆しています。 			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】</p> <p>年金や医療保険などの知識、労働時間や賃金など労働法に関する基礎理解は、今後の皆さん自身の人生を支える学びとしてとても重要になってきます。また、少子化や高齢化が進む中で、社会保障・労働の現状や法制度に関する知識は、企業や行政などで社会課題を見つけ、戦略・計画を立てる際にも不可欠です。ゼミで得た学びは、就活やその後の仕事にも大いに役に立つはずです。</p>			
<p>【おすすめの入門書・基本テキスト】</p> <p>石畑良太郎他編著『よくわかる社会政策 第3版』ミネルヴァ書房 松岡亮二『教育格差』ちくま新書 篠原匡『誰も断らない：こちら神奈川県座間市生活援護課』朝日新聞出版</p>			
<p>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</p> <p>社会課題にアンテナを張り、解決策を友人や教員とともに考えていく。大学では、議論のプロセスを楽しみ、協働する経験を積み重ねてほしいと思います。</p>			